

に協力、連携し、生活バス交通を支え育てる」という基本的な考え方で、中長期的視点にも立ち、路線バスとして存続すべきか、本市の委託または自主運行によるかなどを見極めながら、それぞれの地域特性に応じた運行形態や、市民が利用しやすい路線のあり方などを検討し、市民の交通手段の確保を図る考えである。

また、このたびの廃止路線の対応については、生活バス交通利用促進計画において、基本的な方向性が確認されるまでの間の緊急かつ暫定的な対応である。

◆関連質問

- ・廃止バス路線対策について
(緑風会)
- ・自治体責任として、公共交通の確保策について(市民連合)
- ・公共交通対策について
(日本共産党)

中心市街地活性化(水曜会)

問 中心市街地活性化における

(仮称)中央図書館整備と、伏見町・東桜町再開発の今後のスケジュールおよび商店街再整備の進捗状況は。



(仮称)中央図書館の全体イメージ

答

中央公園地区に整備する(仮称)中央図書館は、施設の基本設計を終え、ユニバーサルデザインの考え方に基づき実施設計を行っており、都市計画の変更手続き後、本年度末の着工、2007年12月完成、2008年7月の使用開始に向け取り組んでいく。

伏見町再開発は、2006年度末の事業認可、2010年度の竣工・オープンを、また、東桜町地区では、本年5月に再開発事業の認可申請を行い、2006年度の権利変換計画認可、2009年度の竣工・オープンを、それぞれ目指すと伺っている。

商店街再整備について、きたはま通りファサード整備事業は9月中に着工する予定と伺っており、

宮通り電線類地中化事業は、今年度設計に着手する。

◆関連質問

- ・中心市街地活性化について
(緑風会)
- ・伏見町再開発事業、駅前広場整備について
(公明党)

地域の子どもの安全策(市民連合)

問 市内の各小学校区で、ボランティアとして取り組まれている

子どもを守る「防犯パトロール」活動は、安全・安心の協働のまちづくりの一環として、全市に拡大することが課題である。地域における子どもの安全策の方針と、これらの活動に積極的な支援と一定の補助を検討しては。



小学校下校時の防犯パトロール(神村学区)

答

地域でのさまざまな取り組みは、子どもたちの安全確保、地域防犯に非常に有効である。今後とも、地域の特色・実情を踏まえた防犯活動や、スクールサポートボランティア事業などの地域ぐるみの活動が全市に拡大、定着するよう取り組む。

また、自主防犯活動に必要な支援措置について、提案の趣旨を踏まえ検討していく。

校庭などの芝生化(市民連合)

問

国は、子どもの情操教育、スポーツ振興、安全な遊び場の提供や地球温暖化防止、ヒートアイランド現象への対策などを考慮して、校庭の芝生化に取り組んでいく。本市も「緑のまちづくり条例」に沿って、子どもたちによりよい教育環境の整備、協働のまちづくりという視点から、学校をはじめ幼稚園、保育所などの校庭や園庭などの施設の芝生化を検討しては。

答

学校の環境整備において、芝生化は教育上、環境保全上およびスポーツ活動の安全かつ快適さにつながっていくものと言われている。しかし、維持管理の問題などもあり、今後研究していく。